

牧之原市教育委員会 会議録

令和4年5月24日、牧之原市教育委員会が牧之原市立萩間小学校に招集された。

この委員会に付議するため、教育長の告示した議案は次のとおりである。

付議議案

- 報告第3号 牧之原市教育委員会後援名義使用の許可について
- 報告第4号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について
- 議案第4号 令和4年度牧之原市教育費補正予算（案）について

出席委員

1番 橋本 勝	事務局	教育文化部長	内山卓也
2番 澤田 衛（欠席）		学校教育課長	杉田雅良
3番 吉住幸子		社会教育課長	永野智芳
4番 寺井ゆみ		スポーツ推進課長	大石昌秀
5番 池ヶ谷裕太		学校再編推進室長	水野敬子
		教育総務課長	佐々木悟
		教育総務課主幹	植田容子

開会時刻 午前10時30分 牧之原市立萩間小学校

教育長挨拶

今月の定例会は、萩間小学校を会場にお借りしての開催である。子どもたちの声が聞こえる中での会議は、いつもと違った環境で新鮮な感じだ。5月も下旬となり、しばらくすると梅雨の季節を迎える。気温と湿度が高くなり、コロナ禍でのマスク生活は、心身への負担が高まりそうだ。お互い健康管理には十分注意したい。

さて、去る16日にあった牧之原市戦没者追悼式において、市内在住の元学校長、石神先生の戦争体験記を聞いた。今、ロシアによるウクライナ侵攻で、多くの犠牲者が出ている。戦争とは何と惨たらしいことか。日本でもそう遠くない過去に、太平洋戦争があった。高齢化が進み、戦争体験を有する人は数少なくなっているが、戦争によって人や家族の運命が大きく変えられてしまった石神先生の体験談を聞いて、改めて平和の尊さ、安心して暮らせることのありがたさを痛感した。

今回、平成22年に市教育委員会で編纂した、「後世に残したい牧之原市のほなし」という手作り冊子があるということを知り、さっそく手に取り読んで

みた。戦時中大変な思いを皆さんしていたことがよく分かった。世界情勢が不安定な現在、国と国との対立によって、いつ、再び争いが起きるとも限らない。人間は賢い。ならば力と力の対決でなく、話し合いでの解決ができないものかと思う。

会議録署名人の決定（事務局より指名）

橋本教育長と寺井委員に願います。

教育長報告

令和4年4月26日から5月23日までの主な行事について報告

報告第3号 牧之原市教育委員会後援名義使用の許可について

（事務局より説明）

4件の申請について、質疑・意見なく承認された。

報告第4号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

（事務局より説明）

6世帯8名から申請があり、質疑応答後、1世帯2名について否認定、5世帯6名が承認された。

個人情報に関わる案件のため、審議状況については非公開とする。

議案第4号 令和4年度牧之原市教育費補正予算（案）について

（教育総務課長より説明）

質疑・応答後、承認された。

教育委員 今回の補正とは関係ないが、戦争で工事費や材料も入ってこない、材料も高騰しているとのことだが、現在、施工中の施設は、材料の値上がりなど大丈夫か。

スポーツ推進課長 現在、体育館の設計を進めている。他に補修工事等もあるが、業者からは、やはり資材不足と材料が高騰していると聞いている。どのくらい高騰しているかわからないが、かなり厳しい状況だと聞いている。

教育文化部長 今後、給食費の食材や、電気、ガスは間違いなく不足すると思う。今回の補正は見送っているが、今後、検討しなくてはならない。

（閉会時刻 午前11時45分）